

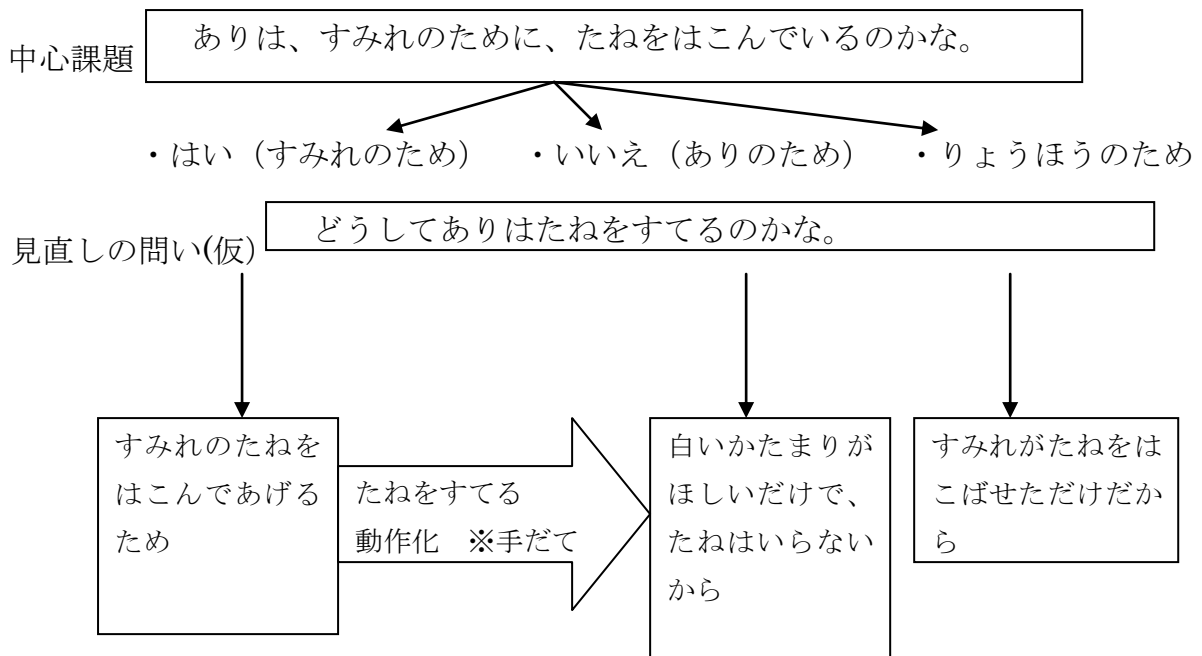
# 「伝え合う力」を育む学習過程

<p>自分の考えをもつ場</p>	<div data-bbox="323 219 1337 315" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>子どもが「伝えたい」という意欲をもつ課題 ⇒重要</b>  <input type="radio"/>初発の感想から ※文章事実を根拠に話し合いができるもの 終着点有り</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">↓</div> <div data-bbox="323 412 1046 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>ワークシートを使い全員に自分の考えをもたせる。</b>  <input type="radio"/>単元の中で同じ形式に慣れさせていく。  <input checked="" type="radio"/>どんな形式が良いのか？書く時間はどれくらい？</p> </div>
<p>互いの考えを交流する場</p>	<div data-bbox="276 674 687 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>学習形態の工夫</b>  <input type="radio"/>グループによる話し合い  <input type="radio"/>ペア学習  <input checked="" type="radio"/>意見をどのように交流させていくのか。</p> </div> <div data-bbox="852 674 1264 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>考えの視覚化</b>  <input checked="" type="radio"/>意見をどのようにまとめ板書に位置付けていくのか。   <input type="radio"/>ネームプレートの活用  <input type="radio"/>考えカードの提示  <input type="radio"/>シール、マグネットの活用</p> </div> <div data-bbox="296 1043 1334 1189" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>その他の支援</b>  <input type="radio"/>文番号を用い（説明文）、発表することへの抵抗を軽減  <input type="radio"/>本文の掲示による読み取り支援</p> </div> <div data-bbox="296 1223 1318 1559" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>●収束させていくための手だて</b>  <b>●問いの必要性</b>  <b>●子どもの意見の交流のさせ方…私たちがめざす子どもの「豊かに表現できる」姿とは？</b>  <b>●「伝える」⇒「伝え合う」へ</b></p> </div> <div data-bbox="986 1133 1481 1335" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; float: right; margin-top: 10px;"> <p>出しっぱなしで終わらず          にここで子どもが納得する          ような手だてを</p> </div>
<p>自分の考えを振り返る場</p>	<div data-bbox="440 1653 1190 1753" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><input type="radio"/>ワークシートの記入による振り返り  <input checked="" type="radio"/>時間と有効性を再検討</p> </div>
<p>日常的に… <input type="radio"/>チャレンジタイムの継続した音読取り組み <input type="radio"/>発達段階に応じた話し方・聞き方の徹底  <input type="radio"/>自分の考えを言いやすい、そして考えを変容させることもできる柔軟な学級の雰囲気。  <input type="radio"/>授業の中で、常に意見の違いを意識させる習慣をつける。</p> <p style="text-align: right;"><b>継続は力なり！</b></p>	

まとめると・・・

- 課題とワークシートを工夫することで自分の考えをもつことができた。
- 学習形態（グループ・ペア学習）の工夫や、考えの視覚化により、考えを「伝える」ことができた。
- 「伝える」⇒「伝え合う」になっていない。
  - ・考えを出すだけで終わらず、互いの意見を聞きあう中で考えを変化させていったり、または考えを深めていったりする姿を求めている。
- ①考えの位置づけ方の問題・・・違いを意識できていない。
- ②問い（手だて）の必要性・・・多様な考えが出された後、それを収束させていくための問いや、課題解決につながる手だてが必要。

EX



③学習形態の工夫・・・「伝え合う」ための学習形態のあり方はどうあればよいか？

●「自分の考えを振り返る場」におけるワークシートは有効であるが、「互いの考えを交流する場」においてしっかりと「伝え合う」ことができていなければ、あまり変容が見られない。

そこで、今年度は「互いの考えを交流する場」における工夫を重点において研修をすすめる必要がある。

## ※確認

### ①「伝え合う力」についてのとらえ

=人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重し、言語を通して適切に表現したり、正確に理解したりする力（小学校学習指導要領解説国語編より）

○双方の立場があり、話し合いがあり、新たに生産されるものがある。

○一方通行ではなく、相互に広め、深め合うこと

・私は、こう思っていたけど、〇〇さんの意見と少し違うな。でも〇〇さんの言っていることも少しわかってきたよ。

・ぼくは、◇◇さんの意見を聞いて、自分の考えがやっぱり正しいと思ったよ。

### ②「豊かに表現する」についてのとらえ

「伝え合う」ことを積み重ねる中で「豊かな表現」が身についてくる。

「豊かな表現」ができるようになれば「伝え合う」ことがより円滑になる。

子どもの姿から

2010年 研究集録の表紙の児童の発言より

<中心課題に対して>

・(たねをはこぶのは) 自分のため。わけは、白いかたまりを食べているから。白いかたまりを食べてたねはすてているから。

<たねをはこぶのはすみれのためという意見に対して>

・白いかたまりを食べたら、たねはゴミみたいに捨てている。使えなくなったから捨てている。何ですみれのためだと思うんですか？

○相手の考えをよく聞いた上で、文章事実や生活経験を根拠に、自分の考えを相手に理解してもらおうと言語によって表現する姿・・・豊かな表現

#### 1. 本年度の研修の方向性について

本年度は一昨年度からはじまった国語科における「伝え合う力」に焦点をあてた研修の3年目にあたる。研修の積み重ねにより、「自分の考えをもつ場」「互いの考えを交流する場」「自分の考えを振り返る場」における工夫が少しずつ見え始めてきたが、子どもの実態としてはまだ「伝える」段階にとどまり、「伝え合う」段階には至っていない。

そこで、本年度は3つの場における工夫をさぐる研修は踏襲しながら、その中でも特に、「互いの考えを交流する場」における工夫はいかにあればよいのかを検討することを重点に研修を進めていきたいと考えている。

各学級で、多くの子どもが互いに言語を通して関わりながら考えを深めていく姿がさらに増えていくことを願って以下のように提案する。

<研究主題> 自分の思いや考えを豊かに表現できる子どもをめざして  
<サブテーマ> ～国語科における「伝え合う力」を育む学習過程の工夫～

<研究仮説> 「互いの考えを交流する場」において、考えの違いがわかるように視覚化し、考えを見直すための問いや考えを収束するための手だてを工夫すれば、自分の思いや考えを豊かに表現できるであろう。

<めざす子ども像> ○自分の思いや考えを進んで話す子ども  
○相手の話をよく聞く子ども  
○話し合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりする子ども

<研究内容> 1. 「伝え合う力」を育む学習過程を ①自分の考えをもつ場  
②互いの考えを交流する場 ③自分の考えを振り返る場と設定し、それぞれの場における工夫について検証する。特に本年度は②を重点的に研究する。

①自分の考えをもつ場の工夫

- ・自分の考えを伝えたいくなるような課題の設定
- ・全員に自分の考えをもたせる支援や手だて

②互いの考えを交流する場の工夫

- ・わかりやすい意見の視覚化（まとめ方、板書）の仕方
- ・考えを見直すための問い
- ・考えを収束するための手だて
- ・適切な学習形態とは（ペア、グループ、一斉）

③自分の考えを振り返る場の工夫

- ・考えを交流した後の考えの深まりや広がりを検証する手だて

2. 毎週月曜日のチャレンジタイム（音読）の取り組み方

<研究組織> ・全体研、部会研（低・中・高）、学年研を組織する。  
・全体研では、提案する部が司会・記録を行う。  
・提案授業の場合は、その部会で司会・記録を行う。

<研究方法> ・提案授業は、低・中・高学年から1回ずつの全体研（合計3回）を行い、授業実践を通して研究主題・研究仮説を検証する。また成果と課題を把握する。

・**全体研を行わない学年は部会研としてチャレンジタイム（音読）の提案**

<その他> (道徳の授業について)

・本校では道徳の提案授業を校内研に位置づけており(4年目)、授業は、近隣の学校に公開している。授業者は部会研の提案授業者の中から1名決め、全体研としてカウントする。指導案審議は夏休みに行う。

(研修の還流について)

50名近くの教職員が1年間に様々な研修、講演会で得る知識、指導技術は膨大なものである。それを個人のものでとどめておくことなく情報交換し還流していくことで、滝尾小学校全体の指導力向上につながると考えている。心に残った講演会の一言、初めて知った指導技術など、エッセンスのみを還流していただきたい。どんな基本的なことでもかまいません!様式は以下のとおり

教科・領域	講演会、研修名・講師名(覚えていたらでよいです)
音楽	
タンバリンの穴は指を入れるためのものではありません。	